

CSR課題項目の取り組み状況

■ 経営を支える基本姿勢

課題項目	2010年度の取り組み項目	2011年度の主な取り組み (2011年度以降のものも含みます)	ページ
基本姿勢	コンプライアンス、企業倫理	● トップコンプライアンス講習会の実施 ● コンプライアンス研修(新入社員、幹部層)の継続実施 ● コンプライアンス啓発ツールの作成・配布 ● コンプライアンス通報・相談窓口の運用見直し、周知方法の改善	30
	リスクマネジメント	● 経営リスク管理委員会を開催し、体制の見直し、リスクの検証および分析を実施	31
	情報セキュリティ	● 引き続き、情報漏洩をしない・させない環境の整備を進める ● 情報セキュリティ対策に関する全社員のさらなる意識向上を目指す	31

■ ステークホルダーとともに

課題項目	2010年度の取り組み項目	2011年度の主な取り組み (2011年度以降のものも含みます)	ページ	
お客さま	100%の安全・安心の追求	交通安全対策	● 引き続き、100%の安全・安心を目指し、交通事故や道路構造物の損傷に起因した第三者被害の根絶などに取り組む	33
		ETCレーンの安全対策		33
		交通管理巡回の実施		33
		法令違反車両の取り締まり		33
		道路交通情報の提供		34
		構造物の老朽化対策		35
		はく落防止対策の推進		35
		災害に強い道路を目指して		35
お客さま	お客さまサービスの向上	お客さまの声を事業に反映	● 引き続きお客さま満足度調査などマーケティング機能を強化 ● お客さまセンターの体制を充実させ、さらにアイハイウェイなど他の案内ツールへの転換を推進 ● 各府県の観光課等へのPRを展開し、より多くの海外からのお客さまへの英語案内サービスを実施 ● オピニオンリーダーとの意見交換をさらに深める	36
		グループ全体のCS向上活動		37
		「お客さま満足施設」への変革		38
		地産地消への取り組み		39
社会	着実な道路ネットワークの整備と機能向上	高速道路ネットワークの整備	● 引き続き、高速道路ネットワークの早期整備および既存ネットワークの機能向上に努め、お客さまの利便性向上および安全・安心の向上を目指す	41
		既存ネットワークの機能向上		41
	防災機能の向上	自治体との災害協力協定	● 想定を超えた広範囲の激甚災害にも対応できる仕組みの構築を含め、災害対応力の強化に取り組む	43
		防災訓練の実施		43
社会	多様な価値の提案と提供	新たな事業への参入	● NEXCO西日本グループの資産・人材等を活用した新たな事業の創造を目指す ● 地域観光振興への貢献を目指し、新たに地方公共団体等とタイアップした企画旅行を実施	44
		海外への事業展開		● 日系企業および現地企業と共同で、アジアにおける海外有料道路事業の案件形成および案件受注を目指す ● 政府および大学と連携してモザンビークにおける道路技術人材育成プロジェクトへ参画
社会	海外への事業展開	開発途上国への技術協力・支援	● 高解像度カメラ(HDV)および赤外線技術を用いた橋梁点検業務等へ参入	46
		米国における開発技術の展開		46

課題項目	2010年度の取り組み項目	2011年度の主な取り組み (2011年度以降のものも含みます)	ページ	
社会	高速道路を支える技術	実用化した技術開発	● 高速道路事業の使命である「100%の安全・安心の追求」、「お客さま満足度の向上」、「高品質な道路の構築」および企業の社会的責任である「環境保全・創造」を将来にわたり確実に果たすため、引き続き技術開発に取り組む	47
		実用化を目指す技術開発		47
投資家・国民の皆さま	公正、透明、健全な事業活動	株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション	● 公正・透明な情報の提供および適正な開示に努める ● 引き続き、事業の効率性・透明性を図るべく、事業評価監視委員会を通じて事業の評価を実施 ● 引き続き、不正通行対策として、カメラ画像やデータ解析により不正通行車両を特定し対応 ● さまざまな機会や媒体を活用したさらなる情報開示に努めるとともに、より効果的な情報発信ツールを目指してホームページをリニューアル	49
		公正な事業活動		50
		多様な情報発信手段による情報開示		51
社員	経営戦略を支える人材の育成	新人事制度の定着と納得感の向上	● 働く喜びと誇り、達成感を実感できるよう当社の事業特性を踏まえた人事評価制度の運用の見直し ● パートナー会社および他のフィールドとの人事交流の実施 ● OJTを積極的に活用した計画的・体系的支援および重点強化スキル研修の実施 ● 女性社員がより活躍できる職域の開発および高齢社員のキャリアを生かし働きがいを持って活躍できる職場の拡大 ● 引き続き、キャリアライフ研修を実施	53
		効率的な業務執行体制の構築と高速道路の価値向上を図るための人員体制の見直し		53
		人材育成の促進		54
		社員のキャリアサポート等の実施		55
お取引先	SA・PAのテナント会社との協働	SA・PAテナントとのパートナーシップ	● 引き続き、お客さま満足度の向上に向け、SA・PAテナントと密接なパートナーシップを構築	57
		公正な取引関係		● 公正な取引関係に資する施策を適時適切に実施
	情報の公表 電子契約の導入	58		

■ より広い社会、未来への働きかけ

課題項目	2010年度の取り組み項目	2011年度の主な取り組み (2011年度以降のものも含みます)	ページ	
環境	環境経営の推進	環境方針の改定	● 次期中期目標として2015年度までの目標を策定 ● 環境方針に基づく取り組みについて具体的な数値目標を設定し定量的に把握 ● 2020年までに、2009年度比で25%のCO ₂ 排出量を削減	59
		事業活動と環境負荷		61
		CO ₂ 排出量の削減		62
	低炭素社会の実現	省エネルギーの推進	● 改正省エネルギー法の施行を受け、さらなる省エネルギーに向けて取り組みの強化を図る ● 太陽光発電を各所に設置 ● 盛土のり面やインターチェンジ園地への樹林化の推進および成長しすぎた樹木等の剪定作業により、健全な樹林形成を促進	63
		創エネルギーの推進		64
		緑化の推進		64
環境保全	循環型社会の形成	建設副産物の3R	● 引き続き、高速道路で発生した植物系廃棄物を自社プラントで堆肥化により再利用する取り組みを推進 ● SA・PAで発生したごみの再資源化を推進 ● 環境に配慮した製品・資材を可能な限り調達	65
		SA・PAのごみ3R推進		65
		環境に配慮した製品・資材の調達		66
自然と共生する社会の推進	生物多様性の保全	● 最適な沿道環境の創出方法を検討するとともに、地域の生物に配慮した道路構造を心がける ● 動物侵入防止柵の設置やけもの道の確保により動物の侵入を防止	67	
		道路交通騒音対策	● 沿道の土地利用状況や騒音発生源などを踏まえた各種騒音対策手法を考え合わせ、騒音対策を推進	68
社会貢献	社会の持続的な発展への貢献	森林保全活動「つなぎの森」	● 支援の輪が社会に拡大するきっかけとなるような社会貢献活動テーマの抽出と取り組みの継続	69
		災害義援金等への協力		69
		現場密着の社会貢献活動		70
		西日本高速道路エリア・パートナーズ倶楽部による社会貢献		71